

TAKAKURA

What do you want to do? Let's do it.
Let's do something new.
Enjoy your school life at TAKAKURA.
Welcome to your new adventure !

名古屋経済大学
高蔵中学校

School Guide 2024



自分を磨く、 未来を拓く。

磨こう、自分を。

多彩な価値観に触れ、個性は一層ひかり輝く。

拓こう、未来を。

多様な人と関わり合う中で、可能性は大きく広がっていく。

高蔵中学校は、個に責任を持つ指導、

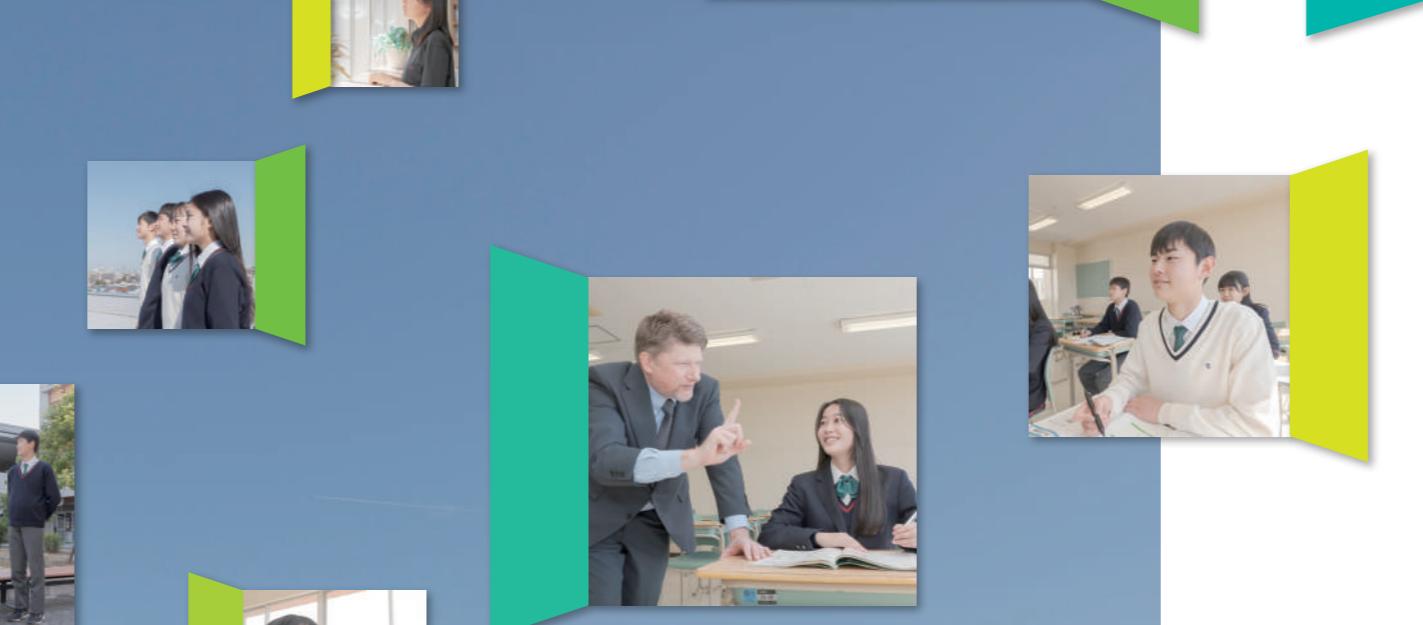
個性を伸ばす教育を実践しています。

前向きに、主体的に勉強にも部活動・行事にも取り組みながら

自分らしさを磨き、輝かせ、

そして理想の未来を切り拓いていける日々を

高蔵で過ごしませんか。



建学の精神

一に人物、二に伎倆

これは、知性や技能を磨くとともに、それ以上に人間性あふれる豊かな心や好ましい個性を身につけることを目指すものです。

この精神のもと、本校は創立以来、生徒一人ひとりの内に秘めている可能性を引き出し伸長させ、社会においてのびのびと輝いていける、より優れた人材の育成に努めています。



創立者
市邨 芳樹



理事長
末岡 仁

校長 Message

個性を大切に、夢をつむぎ、人をはぐくむ。
それが、高蔵の教育です。

最新技術の進歩は社会の変化を加速させています。今は存在している職業も近い将来に全く新たな職業に置き換わるという予測があります。そして、社会の変化とともに教育も大きく変わりつつあります。学校教育では、知識・技能の習得にとどまらず、課題解決力や価値創造力など人にしかできない能力の育成がますます重要になっています。

高蔵中学校では、生徒の個性を尊重し、生徒が「何をしたいのか」、「何ができるのか」を自覚して主体的に学習するよう指導しています。さらに、ICTを活用した最新の教育環境を整備し、少人数でのきめの細かな教育と高蔵高校と連携した中高一貫の教育で生徒の力を伸ばしています。



校長
田村 正美

新しい時代を切り拓く “人づくり教育”を。

Global Communication

ネイティブの英語に触れながら、4技能をバランス良く伸ばす。

国際教育

語学力を高めることはもちろん、学んだ英語を用いて
自分の考えや想いを的確に伝えられる能力の育成を重視しています。



リアルな
国際交流の
様子を
Check!



外国人講師による 「生きた英語」指導

ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話授業を通して、「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語4技能とともに、積極的に伝えようとする意志やコミュニケーション力も養います。



オーストラリア語学研修(希望者)

オーストラリアのメルボルンで2週間のホームステイ・語学研修を行い、提携高校で現地の授業とともに、積極的に伝えようとする意志やコミュニケーション力も養います。また、研修中は現地の観光も行い、生きた外国文化に触れる機会も充実しています。



イングリッシュキャンプ

2年次、全員参加で2泊3日の英語レッスンを実施。オールイングリッシュでの生活を通して、楽しく英語力を向上させます。また最後は一人ひとりがスピーチ・プレゼンテーションを行います。



交換留学(希望者)

オーストラリアにある3つの提携校から留学生が来日し、合同授業やパーティーを通してお互いに異文化交流を行う貴重な機会。留学生のホームステイ受け入れ先も、本校生徒宅が担っています。



Topic!

“届けよう、服のチカラ”プロジェクトに参加

ファーストアーティリングが主催する“届けよう、服のチカラ”プロジェクトは、子どもたちが主体となって、着なくなった子ども服を回収し、難民の方々など世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動。本校では国際的な問題と向き合うSDGs活動の一環として、参加しています。活動前には、ユニクロ・ジューの従業員の方々による、難民問題や服の役割についての出張授業を受講。実際の衣料支援活動に結びついた、次世代教育プログラムです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは…2015年の国連サミットで掲げられた17の国際目標。2030年までに、国連加盟193か国で世界規模の問題を解決するために、国際機関だけでなく一般企業等、全国民の協力・理解を得るために活動を実施している。

“届けよう、服のチカラ”プロジェクトについてはこちら



6年後の大学受験に対応するための確かな学力とともに生きた英語やコミュニケーション力、

課題解決力等といった21世紀型人材としての資質を育むために。

グローバル教育に力を入れている本校では、全校生徒で参加する英語力向上のための取り組みが充実しています。

また様々なICT機器を導入したことにより、生徒の主体的な学びや興味・関心を深める探究学習も強化。

変化する時代を自分らしく生き抜く力を育成します。

ICT Education

一人一台のiPadを授業で活用、生徒の学びの幅を広げるICT機器。

ICT教育

メディアリテラシーを高めることはもちろん、個々の進度に応じた学習システム等、より学びやすい環境を整えることに注力し、ICT設備を充実させています。



アプリを活用したアウトプットの強化

グループワークやプレゼンテーションには、MetaMoji ClassRoom、Office365、Keynoteといったアプリを導入し、生徒の主体的な探究学習をサポート。学習活動発表会では、生徒がiPadで作成したスライドや動画を効果的に織り交ぜた発表を行っています。



電子黒板を活用した授業

高蔵では電子黒板を導入し、図や映像を投影して学びのスマート化を推進。板書する時間を省き、指導に多くの時間を使えるようにするほか、見やすさ・わかりやすさを重視した授業を行います。



留学前のインターネット交流(留学予定者)

オーストラリアの提携校とは、インターネットを通して留学前から親交を深めます。高蔵では、ICT機器で日常の授業をスマートに進める以外に、海外の方とつながるツールとしても活用しています。



ネットトラブル防止講演会

正しくICT機器を使うための常識・マナーを学びます。これから、ますますの発展が予想される情報化社会を生き抜く知恵として、インターネットリテラシーを身につけるための講演会を実施しています。



Topic!

一人ひとりに最適化した学習を実現。

今年度より導入したMonoxerは、先生が憶えて欲しい内容を登録すると、その内容を定着させるために必要な問題が自動で作成されるアプリです。生徒は生成された問題をスマートフォンやタブレットで学習していきますが、一人ひとりの習熟度・忘却度に応じて、リアルタイムで問題の出題頻度や難易度が調整されるため、一人ひとりのレベルにあった学習が実現できます。



高い知性と 豊かな人間性を育み、 理想の未来へ羽ばたく力を 身につける。

生徒一人ひとりが自分の進路を見つけ、その目標に向かって進む力を身につけられるように。確かな学力や継続的な学習姿勢、柔軟な思考力、人とともに物事を成し遂げる協働力等、総合的に人間として成長できる指導を大切にしています。



■ 3つの特色

▶ 朝の学習・朝の読書 ▶

毎朝10分間ずつ、国語・数学・英語の基礎知識を学ぶ「朝の学習」と、視野を広げる「朝の読書」を実施しています。一度集中する時間を持つことで授業へのウォーミングアップを行い、落ち着いた雰囲気で1日の学習に入ることができます。



▶ 習熟度別授業・STEP英検 ▶

数学と英語の授業は習熟度別に行われ、一人ひとりの学力や目標に適した指導を行います。また、1月には「STEP英検」を全員で受験し、合格に向けて様々なサポートを実施しており、準2級以上に合格する生徒もいます。



▶ 総合学習・生教育 ▶

各学年にテーマが設定されている「総合学習」は、体験学習やグループワーク等を通して人生や社会について考える時間です。2年生では「命」「食」をテーマに「生教育」として、「幼稚園実習」「赤ちゃん抱っこ体験」「和菓子作り体験」など貴重な機会を多数用意しています。



■ カリキュラム表

科目	必修科目										特活	総合的な学習	合計	
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳				
1年	4	3	4	3	2	2	3	2	4	1	1	1	—	30
2年	4	3	4	4	1	1	3	2	4	1	1	1	1	30
3年	4	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	1	1	30
計	12	10	12	11	4	4	9	5	12	3	3	3	2	90

Topic 中学弁論大会

高蔵では、思考力や発表力の向上を目指して、毎年弁論大会を開催。行事を通して、身につけた知識を応用し、生かすための力を養います。



Teacher's Message



学びの基本は、
知りたい気持ちと楽しむ心です。

副校長 尾関 靖

高蔵中学校では、「自らすんで学習に取り組むことのできる生徒」を育てたいと考えています。「勉強が好きな子なんていらないよ」そんな声が聞こえてきそうです。でも、ちょっと待ってください、初めて目にするものに、これってなんだろう? どんな仕組みになっているんだろう? と疑問を持ったことや今まで知らなかったことを知った時の喜び、できなかったことが初めてできた時の充実感、誰にでもあるこうした一つ一つの経験が「勉強」だと思います。それぞれの教科の学習だけでなく、さまざまな行事や校外活動でのふれあいの中で、こうした「学びの基本」を大切にていきたいと思います。新しい自分を発見しようチャレンジし続ける生徒を、高蔵中学校は全力でサポートします。

■ 5科指導の特長

国語

国語は「ことば」を学習する教科です。高蔵では弁論大会などを通して、「自分の考えを自分のことばでつくり上げ発信できる力」を育みます。百人一首にも力を入れ、古典への興味も引き出します。

社会

「調べると、新たな発見があるかもしれません。」そんな生徒の気持ちを引き出すべく、自主性を大切にしています。基礎的な内容とともに、それを深めるために、タブレットを活用した調査学習にも取り組みます。

数学

クラスの枠を取り払った習熟度別授業を展開。基本的な計算演習から日常の中の数学まで幅広く学習し、数学の楽しさを味わいます。また「誰ひとり取り残さない」をモットーに、授業外の補習も行っています。

理科

実験・観察を行うとともに、ICT機器の活用に積極的に取り組みます。自然現象への理解を深め、思考力を養うことを目指し、科学に対して生徒の興味や関心を高められるよう指導を行います。

英語

習熟度別に少人数で実施される授業を通して、楽しみながら英語を学びます。英語で発表をする練習や、ICT教材を活用した問題演習等を通して、実践的な英語を身につけることができます。

Cross talk

在校生

中学3年生

飯田 朱香さん



卒業生

高校1年生

荒井 爽太郎さん



先生

数学科担当

高井 孝介先生

考える力を養い、自分自身の意見を伝えられる人に。

飯田:授業は明るく楽しい雰囲気で、わからないところは先生方が丁寧に教えてくださいます。高蔵の授業の特徴は、意見を発表する機会が多いことだと思います。最初は「自分にはできない」と感じていましたが、回数を重ねるうちに苦手意識がなくなりました。

荒井:ほとんどの授業に生徒同士の意見交換や発表の機会があり、クラスメイトと話していると「そういう考え方もあるのか」と、とても勉強になります。

高井T:「やりたい」と思ったことは、生徒たち自身が積極的に動いて実現させています。私たちはそれをサポートする役割。生徒の主体性を尊重するのが高蔵の校風だと感じます。

飯田:入学当初は自信が持てませんでしたが、今では自信を持って意見を言えるようになりました。勉強や合気道の部活動に加えて生徒会にも参加し、毎

日が充実しています。

高井T:高蔵の生徒はみんな、授業以外でも積極的に質問や相談してくれます。部活動をしている生徒や通学時間が長い生徒もいるので、個別の質問に対応する時間を設けるなど、一人ひとりに合った学習指導を心がけています。

荒井:高校になると、授業のスピードが早いなと感じましたが、慣れていくうちに内容が面白いと思えるようになりました。

高井T:授業をする際に、ただ解き方や公式を教えるのではなく、自分の頭でじっくり考えさせることを大切にしています。生徒たちには、これから時代を生きしていく上で必要となる思考力を身につけてほしいと考えているからです。二人には自分自身の意見を大切にしながら、正しく人に伝える力を育んでほしいと思います。

多様な行事を通して 仲間との絆を深め、自己を高める。

友達と、先輩や後輩と、先生と、地域の方々と。

たくさんの人と出会い、関わる様々な行事は、一生の思い出となり、未来への糧となることでしょう。



オーストラリア語学研修

現地の生徒とともに、音楽・体育・家庭科・日本語などの授業を体験します。出発前にはインターネットで提携校の生徒と交流。現地では小学校を訪問したり、観光名所を巡るといったアクティビティも実施します。



4月 April

5月 May

6月 June

7月 July

9月 September

10月 October

12月 December

1月 January

2月 February

3月 March

- 入学式 始業式
- 新入生
オリエンテーション(1年生)

- 赤ちゃん抱っこ体験(2年生)
- 合宿オリエンテーション(1年生)
- 北海道修学旅行(3年生)

- オーストラリア語学研修
(3年生の希望者・夏季休業中)
- 校外芸術鑑賞会
- 体育大会(扇祭)

- イングリッシュ・キャンプ(2年生)
- 弁論大会・文化祭(扇祭)

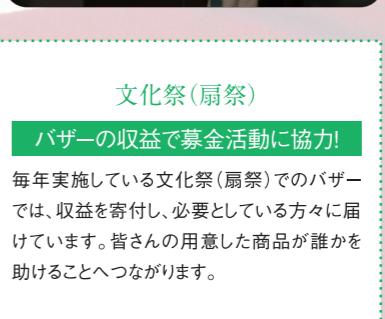
- 幼稚園実習(2年生)
- 合唱コンクール
- スポーツ大会

- 高蔵杯争奪百人一首大会

- 和菓子作り体験(2年生)
- 学習活動発表会
- 卒業式



ワクワクの
修学旅行!





それぞれのフィールドで、 自分らしい輝きを。

運動系、文化系ともに多様な部活動があり、どのクラブも
チーム一丸となって、元気に明るく日々の練習に取り組んでいます。
「一生懸命頑張った」そのような体験が人間的成長を促します。



運動部 Sports club

卓球・硬式テニス・
バドミントン・
バレーボール・
バスケットボール・
合気道・サッカー・ダンス・
柔道・ハンドボール

文化部 Cultural club

吹奏楽・バトン・チア・合唱・
書道・美術・
テーブルゲーム・奇術・
演劇(ミュージカル)・
放送新聞・珠算電卓・文芸・
理科・English Club・箏曲・
カラーガード・茶道

同好会 Academic circle

漫画研究・
かるた・数学検定・
映画英語研究会・
ボクシング

部活動紹介動画はこちら



Cross talk contents

個性は、多様性の中で磨かれる。

生徒・卒業生対談集

卒業生の
活躍はこちら



卒業生対談

**先生と生徒の確かな
信頼関係があるからこそ、
自立の姿勢が身につけられる。**

(左) ホテルマン

丹羽 由香梨さん

株式会社フェイアール東海ホテルズ
名古屋マリオットアソシアホテル 勤務
愛知教育大学大学院
国際コミュニケーション学部 出身
普通科特進コース 卒業

(中左) 教師

澁谷 樹里さん

名古屋市 公立中学校 勤務
高蔵中学校 勤務
教育実践研究科
(現) 教育学研究科出身
普通科進学コース 卒業

(中右) 教師

柴田 舟さん

名古屋経済大学
高蔵中学校 勤務
名古屋国際大学
外国语学部 出身
普通科特進コース 卒業

(右) 薬剤師

横井 健太さん

キヨーフ薬局株式会社 勤務
名城大学 薬学部 出身
普通科特進コース 卒業



高蔵での経験が、今の自分の
考え方の土台となっている。

丹羽:高蔵では、勉強や部活だけでなく、文化祭や体育祭などにも力を合わせて前向きに取り組むことができました。皆さんの印象に残っている出来事は何ですか?

澁谷:私は修学旅行が思い出に残っています。私たちの学年の旅行先は、北海道の網走やアイヌ民族博物館でした。クラス間の垣根を越えて、交流や対話ができ充実した時間を過ごすことを覚えています。

横井:私はどちらかというと行事でも裏方を担当することが多かったのですが、高校2年生の文化祭で思い切って自主制作映画の

演者に立候補しました。この経験で、積極性とともに協調性やチームプレイの大切さに気づくことができました。

柴田:私は生徒会長をしていたのですが、就任してすぐに東日本大震災が起こり、生徒会で募金活動をしたことが印象に残っています。多くの人とともに達成感を得ることができ、「誰かのため」に行なったことが巡り巡って「自分のため」に返ってくるのだ、と感じました。この出来事は、私の考え方の土台を形づくる大切な経験となりました。

高蔵:高蔵は、生徒と先生の距離がとても近い印象があります。話しやすさはもちろん、それ以上に先生方から「信頼されている」「大切にされている」という実感がありました。私は今、公立中学校の教員をしています。教職を志したのは、自分を大切してくれた高蔵の先生方のように、自分も子どもたちと接したいと思ったからです。

横井:私も先生に会うために職員室によく行っていましたし、放課後の教室で先生を交えてみんなでよく雑談したことを覚えていました。

優しく、時に厳しく
導いてくれた先生方の存在。

丹羽:時には厳しく注意されることもあります。

丹羽:時には厳しく注意されることもありますが、信頼関係があったので、素直に聞きました。先生と真剣に向かいながら、自分の行いを自ら振り返り、正すことができました。

横井:高蔵の校風を一言で表すとしたら「温かみ」ですね。友達とも先生とも心を開いて話し合える、アットホームで温かい学校です。この学校で過ごした時間はかけがえのないものです。

部活動生徒対談

**高蔵は、先輩の頼もしい姿を
追いかけながら、
人として成長していく場所。**

(左) サッカー部

塩崎 祐成さん

中学3年生

(中) バトン部

宮井 咲奈さん

中学2年生

(右) テニス部

高橋 美嘉さん

中学3年生



学年を超えた活発な交流が
高蔵の部活動の最大の魅力。

高橋:私が所属するテニス部は中学校・高校合わせて15人ほどの部活で、練習も試合も高校生と一緒に取り組みます。練習やトレーニングメニューはハードですが、お互いに励ましの声掛けながら、良い雰囲気の中で練習できます。

宮井:バトン部も高校生と合同で練習していく、いつも先輩方が明るく場を盛り上げてくれます。入部当初は中学生が私ひとりだったので不安でしたが、先輩方が色々と話しかけてくれたおかげで、すぐに打ち解けることができました。練習では厳しく、それ以外の時間は和気あいあいと、メリハリをつ

けて取り組んでいます。

塩崎:サッカー部は高校生とわかれて練習をしていますが、先輩後輩の分け隔てがなく、皆友達のように仲が良いです。1年生の時に先輩に気にかけてもらった分、自分も後輩には積極的に話しかけるようにしています。

時間の使い方を意識することで、
勉強と部活動が両立できるようになった。

高橋:私は部活を通して、性格が明るくなり、人と積極的に話せるようになりました。テニスの練習中は、ボールを拾ってもらったり、道具を持ってきてもらったりして「ありがとうございます」と口にしています。毎日1時間だけでも、苦手教科の復習等をするようにしています。

高橋:私も1年生の時は勉強との両立がうまくできず、大変でしたが、朝の授業前や隙間に宿題を進めるなど、だんだんと時間の使い方が上手くなってきたと思います。2年生になってからは勉強の成果も徐々に出てきて、成績も上がっています。

宮井:バトン部では顧問の先生だけでなく、コーチや年上の方々から指導いただけた機会があります。技術以外にも、敬語の使い方や身だしなみ、目上の方に対する礼儀作法などを学ぶことができました。

塩崎:私のこれから目標は、ひとつでも

オシャレで機能性の高い制服があなたらしい毎日を彩る。

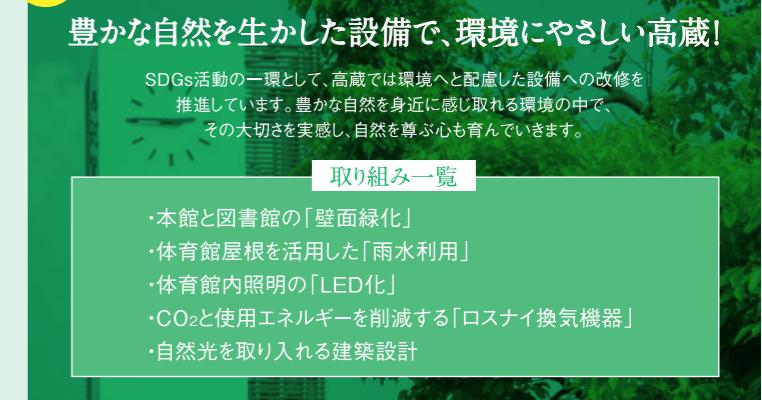
高蔵中学校の制服は、カラーバリエーション豊かで自由に組み合わせられることが特長。
季節に合わせて、ぜひ自分のコーディネートを楽しんでください。



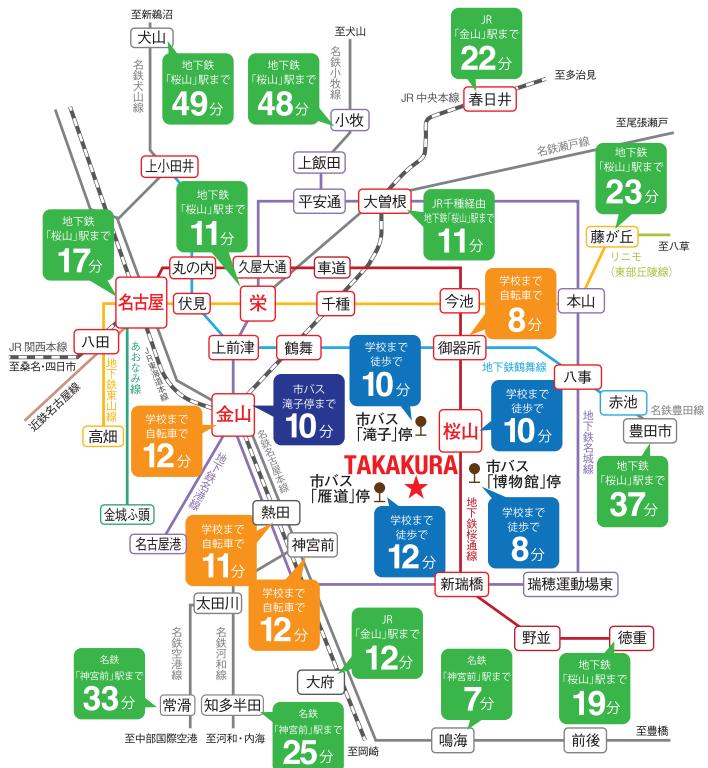
最新の設備が整った、心地よいキャンパス。

広々とした人工芝グラウンドや豊富な蔵書を誇る図書館など、快適に学校生活を送るための設備が高蔵には整っています。

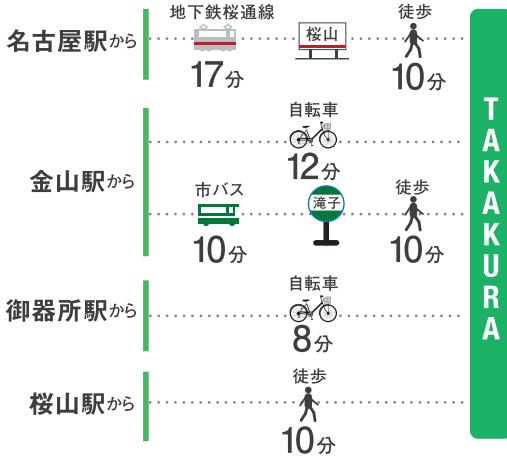
オリジナルパノラマで
校内を探検!



ACCESS



恵まれた立地で通学も便利。
どこからでも通いやすい学校です。



Digitized by srujanika@gmail.com



高蔵LINE公式アカウント



名古屋経済大学 高蔵中学校

〒467-8558 名古屋市瑞穂区高田町三丁目28番地の1

TEL:052-853-0050(代) FAX:052-841-8160

E-mail:takakura@nagoya-ku.ac.jp

HP: www.takakura-hj.info

